

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	志茂つくし保育園
活動日時	2025 年 3 月 26 日（水）
クラス名	ひまわり組（2 歳児）
年間テーマ	光

1. 活動テーマ

<テーマ>

プロジェクター水族館

<テーマ設定理由（子どもの姿）>

日々の保育の中で海の生き物に詳しい子が図鑑を見て名前を教えたり、新聞紙でタコを作って見せてくれたりしていく中でクラスの友だちも海の生き物に興味を示す姿が見られたため。

2. 活動スケジュール

- ・6 名で行う（ひまわり組）
- ・映像の中の海の中の生き物に触れてみたり生き物の名前を言い楽しむ。

3. 環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

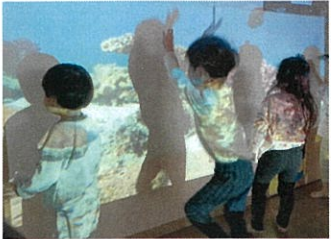
プロジェクター 白い模造紙 養生テープ 暗い保育室 製作をした海の生き物
ビデオカメラ（記録用） 海の映像 子どもの手の届く位置に白い模造紙を貼り
映像を見やすくする プロジェクターの光が強いため絶対見ない約束をする。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

約束事の確認（プロジェクターの光を見ない）室内を暗くし、プロジェクターから映し出される海の中の映像を見て海の生き物や動きをそれぞれ探究し、ジャンプしたり、しゃがんで捕まえようとしたり、見たことのある生き物の名前を言葉で表現していた。製作をした海の生き物（魚やタコなど）を海の中に入れると少し離れてみる姿や、貼っては剥がし、また別の場所に貼るなど子どもたちの海の世界を作り上げていた。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの声・姿	写真
・海の中の生き物が映し出されると声を出して飛び跳ねたり、捕まえようとして壁を叩いたり、しゃがんだり、ジャンプしたり魚を食べるマネをする姿があった。 ・「冷たいね」と経験したことを言葉で伝える子や魚の鱗が反射する様子をみてキラキラと言うなど見たことを言葉で表現していた。海の生き物に詳しい子は名前を言っていた。 ・映像だけではなく、壁に影がでてくるとビックリしたり、自分の姿が影として映し出されると自分の体を見て笑う姿があった。魚を壁に貼ると少し離れて見る姿があった。 ・一つの場所に貼る子、貼っては剥がした別の場所に貼るなど思い思いに子どもたちの海の世界を作り上げていた。	  

5. 振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

壁に海中の映像が映し出される面白さに貼っていた模造紙が破けるほど、夢中になり魚を捕まえようとしていた。映像を見るだけではなく、製作した海の生き物を自分で貼ることで、子どもたちも海の中に入っているような体験ができたのではと感じた。うまく言葉で伝える事ができない 2 歳児だったが、表情や体全体でいろんな表現をしていたので十分に伝わった。連絡帳などの情報から家庭でスマートフォンなどの端末で動画を見る機会が多い子どもたちにとって、保育園で大きな画面で映像を見ながら自由に動けるという機会は特別な経験になったと思う。